

平成28年10月27日(木) 2校時
 指導者 教諭 岡村 眞理
 場所 1年1組教室

1 本研究授業の提案

- (1) 計算の仕方を考えさせる際に、ブロックを動かす操作活動を通して視覚的に捉えさせる。
- (2) 操作活動によって考えた計算の仕方をワークシートに書かせることにより、思考の過程を自分だけでなく友達や担任が分かるようにする。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 分かりやすい発問や指示を行う。
- (2) 一人一人の実態を把握し、個に応じた支援を行う。

3 単元名 「ひきざん」

4 単元の目標

11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。

5 指導計画 (本時 1 / 13時間)

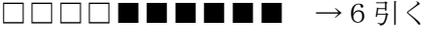
小単元	時	主な学習活動
1 13-9のけいさん	① ② ③ ④ ⑤	13-9の計算の仕方を考える(本時) 減数が9の場合の計算の仕方(減加法) 減数が8の場合の計算の仕方(減加法) 減数が9, 8の場合の計算練習 減数が7の場合の計算の仕方, 計算練習
2 12-3のけいさん	⑥ ⑦	12-3の計算の仕方を考える(減減法) 11～18から1位数をひく繰り下がりのある計算の練習 文章題の解決
3 かあどれんしゅう	⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	計算カードを用いた減法計算の練習
4 まとめ	⑬	学習内容のしあげ

6 本時の展開

- (1) ねらい
繰り下がりのある減法の計算の仕方について考える。

(2) 指導過程

段階	学習活動	指導事項・留意点・評価
つかむ	1 学習問題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">どんぐりが13こあります。9こつかいました。どんぐりはなんこのこっていますか。</div>	
見通す	2 課題をつかみ、見通しを持つ。 ・何算になりますか。 →引き算 ・どうして引き算になるのでしょうか。 →「のこっていますかだから。」 「つかってすくなくなったから。」 ・どんな式になりますか。 →13-9	・「のこっていますか」という言葉に着目させ、既習事項から引き算になることを押さえさせる。

考える	<p>3 13 - 9の計算の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数ブロックを使って考えましょう。 <p>① 13から1つつ引いていく。  </p> <p>② 9を3と6に分け、13から3を引く、10から6を引く。(減減法)  → 6引く  → 3引く</p> <p>③ 10から9を引く、1を3に足す。(減加法)  </p>	<ul style="list-style-type: none"> 「はじめに○個あります」「○個つかいました」という話型を示し、説明の仕方を支援する。 算数ブロックを操作し、どのように考えて算数ブロックを動かしたのかをワークシートに書き入れさせて自分の考えをまとめさせる。 机間指導を行い、答えを出せないでいる児童に個別支援を行う。
確かめる	<p>4 ペア学習で自分の考えを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣の友達と、並べた算数ブロックを見せ合い、お話をしながら動かして説明しましょう。 <p>5 みんなの前で、算数ブロックを動かしながら説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導でいくつかの考え方に類型化し、意図的指名で考え方を説明させる。 書画カメラを使ってワークシートを映し、説明させる。
まとめる	<p>6 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 13 - 9の計算の仕方にはいろいろなやり方があることが分かりました。 次の時間には、ブロックを使わずに計算する仕方を詳しく学習していきます。 	<p>評価 繰り下がりのある減法について、その計算の仕方を考えることができる。</p>

(3) 板書計画

どんぐりが13こあります。9こつかいました。
どんぐりはなんこのこっていますか。

しき $13 - 9 = 4$
こたえ 4こ

① 13から1つつひいていく。




② 9を3と6にわけ、13から3をひき、10から6をひく。




③ 10から9をひき、1を3にたす。




(4) 本時の評価

具体的評価規準	繰り下がりのある減法について、その計算の仕方を考えることができる。(観察・ワークシート・発言)
Aと判断する姿	繰り下がりのある減法について、その計算の仕方をワークシートに書き、友達に分かりやすく説明することができる。(観察・ワークシート・発言)
Cへの手立て	算数ブロックの動かし方を個別に支援し、繰り下がりのある減法計算の仕方を考えさせる。